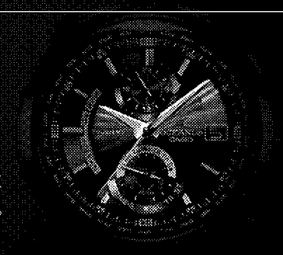
CASIO

Smart Access 搭載
オシアナスT1000。
さらなる多機能化と、かつてない操作性で新たな領域へ。

Smart Access〈スマート・アクセス〉
新たな5モーターレイアウトと、オシアナス初となる電子式リューズスイッチの組み合わせにより、押す・引く・回すというシンプルなリューズ操作で、多くの機能をより軽快に感覚的に操作できるユーザビリティに優れたドライブ方式。

革新的な独立運針：代名詞である5モータードライブがさらに進化。センター軸にある時針・分針・秒針に対し、それぞれ別のモーターがアクセスすることで完全に独立した運針を実現。各種のモード・表示切替を俊敏に行う。



電波ソーラーは、第三世代へ。
強さと薄さ、信頼性の追求が生み出した〈TOUGH MVT.〉

Elegance, Technology

TOUGH MVT. TOUGH MOVEMENT

マルチバンド6
日本（2局）、中国、アメリカ、イギリス、ドイツ。世界6局の標準電波に対応。日本、中国、北米、欧州地域で標準電波を受信し、時刻を自動修正する。

ハイブリッドマウント構造
各パーツの素材の組み合わせと、重量・強度バランスを緻密に計算し最適にレイアウト。衝撃時に発生する"たわみ"や"横ずれ"に対する耐久性を向上した。

タフソーラー
光を動力に換えるカシオ独自のソーラー充電システム。電波受信機能や針位置自動補正機能など、強負荷のかかる各種機能を安定駆動する。

針位置自動補正機能
独自のアルゴリズムで秒針、分針、時針の針位置を検出し、確認。LSI内の時刻カウンターと針の基準位置にずれが生じた場合、各針を正しい位置に自動で補正する。

OCEANUS

◎電波受信が行われない場合は、通常のクオーツ精度で動作します。◎電波時計は標準電波を受信して時刻修正を行いますが、時計内部の演算処理等により若干（1秒未満）のずれが発生します。◎電波受信は、季節・天候・時間帯・建物などの条件により受信できない場合があります。

oceanus.casio.jp
カシオ計算機株式会社　OCW-T1000-1AJF ¥100,000（税込¥105,000）

6月10日は時の記念日

6月10日は時間の大切さを再認識して生活の改善・合理化を図ることを目的に「時の記念日」となっている。正確な時の必要性を考える上で、電波時計は貴重な存在である。生じる誤差は10万年たってようやく1秒しか狂わない超高精度であるほか、時刻合わせしなくても自動的に正確な時を刻む仕組みとなっていることが大きな特徴である。また、正確な日本標準時の印字が求められるタイムスタンプの存在も注目。電子文書の存在時刻と非改ざん性を証明するのに利用するほか、知的財産の保護、医療情報の安全管理、電子商取引など、多くの場面で利用されることから、今後も需要拡大が見込まれる。

多彩な機能を直感的な操作で簡単に使える

電波時計が日本やドイツなど世界で普及する中、カシオ計算機はメタルウオッチ「EDIFICE（エディフィス）」の新製品として、「EQW－A1000」を8月31日に発売を予定している。エレクトロニクスを駆使した多彩な機能を搭載していながらも、それらを直感的な操作で簡単に使えるシステム「Smart Access（スマートアクセス）」を採用している。

時針・分針・秒針それぞれが独立駆動

このシステムの実現に向けて、二つの技術が新たに開発された。一つはNew5モータードライブ。時針・分針・秒針と大型のディスク針、3時側の日付表示をそれぞれのモーターが独立駆動することで、ワールドタイムの都市表示に掛かる時間の短縮などスムーズな使い心地を実現する。もう一つは電子式リューズスイッチ。リューズをボタンのように押したり、回したりといった感覚的な操作を可能にする。

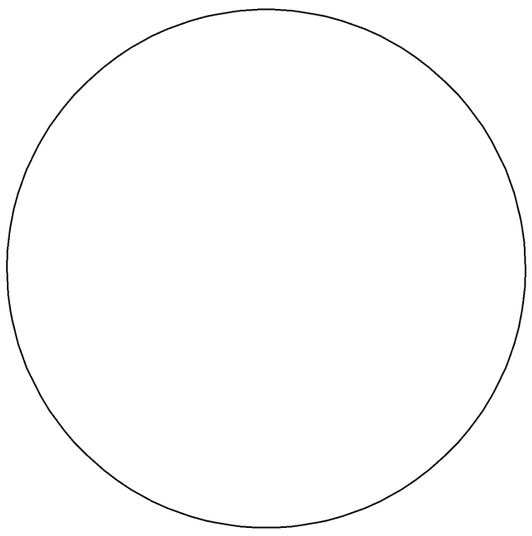
スマートアクセスは昨年10月に発売したソーラー電波ウオッチ「OCEANUS（オシアナス）」の「OCW－T1000」で初めて搭載し、EQW－A1000は第2弾になる。今後、同社はスマートアクセスを搭載したモデルを増やすことで、さらなるユーザビリティーの実現を目指していく。

電波時計は日本標準時を自動表示

電波時計は、電波送信所から発信される正確な時刻情報を載せた標準電波をアンテナで受信した後、自動的に時刻や日付を修正して日本標準時を表示する。分刻みで仕事のスケジュールが入って忙しいビジネスマンが腕時計として使用するのはごく当たり前だが、ビデオやDVDレコーダーなどのAV機器、タイムレコーダー、監視カメラにも搭載されている。

日本の標準時は、情報通信研究機構（NICT）が決定し管理している。日本の標準電波は福島県の「おおたかどや山標準電波送信所」と、佐賀県の「はがね山標準電波送信所」の電波塔から送信されている。送信所ごとに半径1000キロメートルをカバーしており、二つの送信所により日本のほぼ全領域を網羅している。

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響で、おおたかどや山標準電波送信所が3月12日に電波の送出を停止し、一部の電波時計が正確な時刻を表示しなくなる問題が起きた。現在は標準電波の送信を再開しており、電波時計は本来の機能を取り戻している。



オ計算機のメタル腕時計エディフィス「EQW－A1000DB」

多くの場面で利用
タイムスタンプ

企業価値を高める戦略として位置付け

電子データ・電子文書の信頼性を高めるための技術として「タイムスタンプ」の活用が増加している。最近では、企業における製品・技術開発情報の先所有権確保につながる知的財産保護を実現するためにタイムスタンプを活用する場面が多くなっている。企業価値を高めるための戦略として位置付けられ、市場競争力の源泉にしたり、研究開発成果の確認に利用したりするからである。さらに、社員の意識変革を引き起こし、モチベーション向上による研究開発の活性化ももたらす。

また、医療の透明性や医療訴訟におけるコンプライアンス（法令順守）の強化に向けた医療情報の電子化としての利用も注目される。紙で作成されたカルテや調剤録、X線フィルムなどは保管コストが高くなる上、探し出すのに時間が掛かることから効率的な運用を妨げる要因になっていた。そこで医療機関が扱う情報を電子化することで、情報の安全を確保するほか、業務効率向上に大きく貢献する。

従来、タイムスタンプサービスは専用ソフトやサーバの導入が必要だったが、最近ではタイムスタンプの付与や管理をクラウドコンピューティングで行うサービスも増えてきている。導入・保管コストを低く抑えることが可能になる。さらに、署名付き電子文書は比較的保存期間が短いため長期間の保存を実現するために、タイムスタンプの付与や電子署名に関連した失効情報の収集処理などをアプリケーションサービスとして提供する動きも見られる。

日刊工業新聞 電子版
ver.1.0

海外法人を有する企業のみなさまへ

国内契約（海外利用限定）のオススメ

このたび弊社は、「日刊工業新聞 電子版ver.1.0」を海外向けに発売致しました。貴社の海外子会社などで、お役立て下さい。

ビジネスに必要な記事を
探す search
見つける find out
保存する! stock

お役立ち機能が満載!!

❶ 過去記事検索機能
トップ画面にある過去記事検索ボックスで、キーワード入力による過去30日間の記事検索が可能。さらに月額プラス1,050円で2008年1月以降の記事データベースが利用できます。

❷ 新聞紙面の画像表示機能
電子版の各面を新聞紙面のPDF画像でも表示。新聞の持つ一覧性を電子版上でも再現できます。

❸ マイニュース機能
お客様が登録したキーワードを含む記事を自動収集。自社の会社名や競合先の製品名等を登録するだけで、要チェック記事をトップ画面に見出し表示します。

❹ マイクリップ機能
各記事の末尾にあるクリップボタンで保存完了。気になる記事を最大30件までストックでき、いつでも閲覧可能です。オプションで100記事までストック。

❺ 編集部からのおすすめ記事
編集の選んだ旬のテーマに関連する記事をトップページに表示

❻ ランキング機能
・今日の閲覧ランキング
・週間閲覧ランキング

❼ 過去紙面表示機能
トップ画面にあるカレンダーを用いて、過去30日前からの電子版を簡単表示。見逃した紙面やもう一度確認したい記事をいつでもご覧いただけます。

ご利用料金について　ご利用ID単位での料金となります。
●月額基本料（3,150円／月）　●オプション　過去記事検索（1,050円／月）
※海外のお客様は、クレジットカード（VISA・MasterCard・JCB・AMEX）によるお申込みとなります。

オプションについて（1,050円/月）
●過去記事検索オプション
2008年1月以降の全ての記事検索が可能となります。
●マイクリップオプション
最大100記事までストックできます。

お申し込み、サンプル画面、その他サービスの詳細
日刊工業新聞電子版（http://e.nikkan.co.jp/）のトップ画面をご参照下さい。

お問い合わせ
日刊工業新聞社　〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1
Mail：e-news@nikkan.co.jp　0120-832-132